

7/29

弓削高校学校体験学習 ～高齢者と触れ合い交流会in海光園～

7月29日、弓削高校の生徒と海光園の入所者との交流会が行われました。この交流会は、福祉や介護についての知識や理解を深めるとともに、交流を通して生徒の豊かな感性を育成することを目的としています。

交流会では生徒による懐かしい曲の楽器演奏と合唱をし、入所者も一緒に口ずさみ、手拍子をとっていました。また、生徒の準備した手作りのカレンダーに絵を貼り、夏らしいカレンダーを作成しました。利用者に合わせた声掛け等、生徒たちが積極的に触れ合ってくれたことで、生徒・入所者ともに楽しいひとときを過ごすことが出来ました。また7月12日には、弓削高校の奉仕作業として海光園の窓ふきを実施していただきました。



8/10

弓削高校音楽部 サマーコンサート

8月10日、せとうち交流館において弓削高校音楽部サマーコンサートが開催されました。「ひまわり」や「sing sing」など13曲が演奏され、人数の少なさを感じさせない素晴らしい音色に会場に集まった観客は耳を傾けていました。



8/11

《生名》

海光園慰霊祭

8月11日、海光園において慰霊祭が行われました。

14時から行われた慰霊祭には、上村町長、原議長が出席し、入所者や遺族の方と正福寺御住職の読経により、亡くなられた方のご冥福を祈りました。



8/10

《弓削》

弓削地区緑ヶ丘C棟建設工事 安全祈願祭

8月10日、弓削上弓削の緑ヶ丘C棟建設地において、弓削地区緑ヶ丘C棟建設工事の安全祈願祭が举行されました。

上村町長をはじめ、町議会議員、上弓削地区住民代表、工事関係者など23名が参列しました。神事は高濱八幡神社の亀山宮司が、祝詞奉上、地鎮の儀、玉串奉奠などの神事を厳かに執り行い、工事の安全を祈願しました。

その後、上村町長が挨拶を述べ、続いて原議長の乾杯の発声により神酒拝載が執り行われ、安全祈願祭は終了しました。

この工事は、鉄筋コンクリート造地上3階建て、整備戸数は24戸（1DK・6戸、2DK・12戸、3DK・6戸）です。本工事は平成24年3月の完成予定です。



8/13

《弓削》

ゆげOBサッカーフェスティバル

8月13日、弓削中学校グラウンドにおいて、恒例の第14回ゆげOBサッカーフェスティバルが開催されました。今年は、各地域別の4チームに分かれての熱戦が繰り広げられ、参加者は昔を思い出し一生懸命ボールを追いかけて、好プレーや時折見せる珍プレーを楽しみながら気持ちの良い汗を流していました。

試合後は、懇親会が行われ、思い出話に花を咲かせながら、大変盛り上がりしました。



8/14

《岩城》

上島町いわぎ野球大会

8月14日、岩城総合運動場野球場において、第56回上島町いわぎ野球大会が開催されました。毎年お盆の恒例行事となっている野球大会を楽しみにしている人も多く、当日は大変暑い中でしたが、7チームが熱戦を繰り広げました。

今年は離島甲子園の開催が間近に迫り、中学生の出場選手も多い中、時には真剣に、時には和気あいあいとプレーする選手たちに観客も激励を送り、交流を深めました。

優勝…北チーム
準優勝…西部チーム



8/14

《弓削》

ふるさとソフト

8月14日、弓削小中学校グラウンドと弓削体育館において、恒例のふるさとソフト&ソフトバレーが開催されました。試合は好プレー？珍プレーの続出で、和気あいあいとした雰囲気での世代を超えた交流の輪が広がりました。

試合後、懇親会が行われ、年に一度の同級生や先輩・後輩との再会に会場は大変盛り上がりしました。



8/14・15

《魚島》

うおしま盆行事

8月14日、15日魚島総合支所前広場において盆踊りとてんでこ踊りが行われました。14日は青年団による夜店も出て、子どもたちが射的やくじ引きを楽しみました。その後盆踊りが行われ、大勢の人が輪になりにぎやかに踊りました。

15日には、魚島の伝統行事である「てんでこ踊り」が行われ、カラフルな衣装に身を包み、思い思いに化粧した人々が、掛け声に合わせて鉦や太鼓に合わせて跳び跳ねながら練り歩き、住民や帰省客らを楽しませました。



8/29

《弓削》

夏季巡回ラジオ体操会

8月29日、弓削小学校グラウンドにおいてNHKの夏季巡回ラジオ体操会が行われ、子どもからお年寄りまで約600人が心地良い汗を流しました。

今回のラジオ体操会は生名橋開通記念として開催されたもので、開会式では上村町長らが挨拶を行いました。

参加者たちは多胡肇（たごはじめ）さんの指導のもと、幅しげみ（はばしげみ）さんのピアノ伴奏に合わせて約10分間、のびのびと体を動かしました。



8/26

夕涼み交流会

8月26日、生名保健センターにおいて、日頃、保健事業に参加している高齢者や保健栄養推進員、乳幼児やその家族など、約90人が参加し、恒例の「夕涼み交流会」が開催されました。地域リハビリ参加者の作った手芸品や、ポップコーンの会などの各種バザーは盛況でした。また、魚釣りゲームや工作体験のコナーは、親子連れでにぎわっていました。



8/27

《岩城》

Love&Beat LIVE!

8月27日、岩城港の岩城生名漁協前物場において、『Love&Beat LIVE! 2011』（ピアガーデン&ライブ）が開催されました。

今年で14回目のLove&Beat LIVE!は猛暑を吹き飛ばすかのよう、今年初参加のA・T・M・Tを始め地元の5バンドのパワーが大炸裂！夏の終わりを楽しもうと来場したお客さんたちも、生ビール片手に大ノリの一夜でした。



弓削高校 観光甲子園優秀作品賞受賞

8月21日、神戸夙川学院大学において、高校生が主役となって地域をアピールし、実際に商品化をめざすことのできる地域観光プランをコンテストする「第3回全国高校生『観光甲子園』（観光プランコンテスト）」の本選が開催されました。

応募総数134プランのなか、弓削高校の「あなたのしたいを叶えます!!上島町離島観光プロジェクト」が優秀作品賞（日本ホテル協会会長賞）を受賞しました。



今後の益々のご活躍を期待しております。

お詫びと訂正

9月号の広報において次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

■P16 「産直市始めます!」の3行目

【誤】 生名港務所 ⇒ 【正】 立石港務所

■P17 かみじま歴史探訪

シリーズ・資料が物語る郷土の歴史⑥

「ビッケル船長と弓削商船学校」の

タイトル、上段16行目

【誤】 ビッケル ⇒ 【正】 ビッケル

青年海外協力隊 活動日誌

ブラジルで生きる日本語

上島町の皆さま、こんにちは。日系社会ボランティア・ブラジル派遣の堀本梓織です。

日本を発ってから1年が経ちました。砂糖がたっぷり入ったコーヒーも、頬を合わせる挨拶も、サッカー大好きで陽気なブラジル人も、すべてが当たり前になりました。他にも1年前には「あれ?」と思っていたことが、今では日常になっていきます。その中で、私が面白いと思うことに「言葉」があります。

「言葉」と言っても、ポルトガル語ではなく、日系社会で使われている言葉を紹介したいと思います。

まず、「コロナ語」です。「コロナ語」とは、コロナ（移住地）で使われている特有の言葉です。例えば「メーザかけ」「サッカーを投げる」があります。まず、「メーザかけ」ですが、これはテーブルクロスのことです。「メーザ」は、ポルトガル語で「机」で、それに「掛け」を融合させたものです。次に「サッカーを投げる」ですが、これは、「(スポーツ)をする」「投げる」の意味の動詞の訳を、すべて「投げる」にしたようです。大人だけでなく子どもたちも良く使っているコロナ語の1つです。

次に、日本ではあまり使わなくなった日本語があります。「さじ」「便所」など、日本ではカタカナ語になった言葉もまだまだ使われています。古き日本語が、ここブラジルには残っています。また、コロナの人たちの会話を聞いているとおもしろいです。例えば、1世の人と2世の人の会話だと、一方は日本語、もう一方はポルトガル語を使っています。それでも、きち

んと通じているのです。初めて、その光景を目にした時、驚いた記憶があります。今では、自分も仲間入りです。任地であるイタペチの2世以降の方は普段はポルトガル語を使います。しかし、その中にも、日本語が良く顔を出しています。「amanha明日」日本語学校「tena aula（授業がありますか）」、「muito（大変）重い」のように、日本語が使われています。ポルトガル語がわからなくても、日本語学校のことを言っているというのは、わかります。不思議な感じですが、私にとっては、ちょっとした手助けになっています。

このようにブラジルで、日本語が生きているのです。少しずつポルトガル語と同化をしつつ、移民の方々が来た時代の日本語を守りつつ、日系社会では使っています。正式な日本語とは言えませんが、大事にもらいたいものの1つだと思います。



イタペチ日本学校の先生たち
(左:日本語の先生、中央:習字の先生、右:私)



生徒と家族

《堀本梓織 プロフィール》

2009年日本語教師養成講座修了。海外にある日系社会とその中で受け継がれている継承日本語教育に興味を持ち、2010年からJICA日系社会青年ボランティアでブラジルに。日々の生活を綴ったブログ「ITAPETI日記」<http://ameblo.jp/2010j28/>も更新中。